

平成 28 年度
千葉市健康づくり推進協議会
第 1 回食育推進部会

議 事 録

保健福祉局健康部健康支援課

平成28年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会 議事録

1 **開催日時:**平成28年7月28日(木) 午後1時30分～午後2時45分

2 **開催場所:**千葉市総合保健医療センター 2階 健康学習室(千葉市美浜区幸町1-3-9)

3 **出席者:**(委員)

安藤裕子委員、石川進一委員、大濱洋一委員、岡部明子委員、坂口いく子委員、菅野孝子委員、杉崎幸子委員、田島伸子委員、牧野哲也委員、渡邊智子委員

※欠席委員:伊藤和彦委員、古賀摩希子委員、斎藤昌雄委員、砂川豊委員、藤沼照雄委員、土屋和紀委員

(事務局)

加瀬健康部長、福田健康支援課長、角川消費生活センター所長、西地域包括ケア推進課長補佐、前嶋生活衛生課担当課長、西村食品安全課長、藤田健全育成課長、鈴木幼保支援課担当課長、五藤幼保運営課担当課長、植草廃棄物対策課主査、石出農政課長、萩原農業経営支援課課長補佐、荒川稲毛区健康課長、豊川指導課指導主事、伊原保健体育課担当課長、

※欠席:農業生産振興課、生涯学習振興課

4 **議題**

(1) 第2次千葉市食育推進計画の取組状況について

(平成27年度の取組状況及び平成28年度の推進計画について)

(2) 関係機関・団体等と連携した食育推進活動の状況について

(4) その他(第3次食育推進基本計画(内閣府)について)

5 **議事の概要**

冒頭、事務局から、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨の説明を行った。千葉県立保健医療大学の渡邊委員が昨年度に引き続き部会長として議事を進行。

(1) 第2次千葉市食育推進計画の取組状況について

(平成27年度の取組状況及び平成28年度の推進計画について)

施策展開ごとに担当課(7課)から報告されその内容が共有された。

(2) 関係機関・団体等と連携した食育推進活動の状況について

委員の所属団体の中から3団体に関係機関・団体と連携した食育活動についての報告がされ、その内容が共有された。

(3) その他

第3次食育推進基本計画(内閣府)について、概要を説明。

6 会議経過

午後1時28分開会

(三橋健康支援課課長補佐) 大変お待たせいたしました。

定刻前ですが、委員さんがお揃いですので始めさせていただきます。ただ今から、「平成28年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会」を開催させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、健康支援課課長補佐の三橋でございます。どうぞ、よろしくお願いたします。

本部会の開催につきましては、委員総数16人のうち、10人のご出席をいただいておりますので、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第5条に基づき会議は成立しております。

なお、千葉市情報公開条例の規定により、本市の審議会などの会議は原則公開となっておりますので、本会議につきましても、公開とさせていただきます。

また、議事録につきましては、部会長の承認をいただきまして、千葉市ホームページなどで公開しますので、あらかじめご承知ください。また、この会の記録といたしまして、写真を撮らせていただきますので、お知らせいたします。

部会に入ります前に、手元の資料の確認をさせていただきます。

「次第」、「席次表」、「委員名簿」、「出席者名簿」、「【資料1】「第2次千葉市食育推進計画について」(概要)」、「【資料2】第2次千葉市食育推進計画 取り組み一覧表」、「【資料3】千葉市食育のつどい2016結果報告」、「【資料4】関係機関における食育推進の取り組み一覧表」、「【資料5】第3次食育推進基本計画(内閣府)抜粋」、参考資料として、「千葉市健康づくり推進協議会設置条例」「食育推進部会について」、「千葉市食育&消費者教育情報誌 おいしくタベルたのしくマナブ」、「平成28年度食生活改善普及運動 啓発ツールについて」こちらにつきましては、昨年度もお配りしましたが、毎年9月1日から30日が食生活改善普及運動の月間となっており、野菜摂取量の増加や食塩摂取量の減少を支援する為、厚生労働省が作成したものでございます。厚生労働省のホームページよりダウンロードできます。また、千葉県歯科衛生士会からの資料として「かむ子・のびる子・元気な子料理コンクール」について、併せて「舌の健康チェック」と「受賞作品レシピ集」の2枚を追加でいただいております。続きまして、千葉市食生活改善協議会からの資料として、「やさしい手作りパン教室」、千葉県立保健医療大学からの資料として、「災害にそなえ備蓄食料などを準備しよう!」というクリアファイルにパンフレット5種類をいただいております。

あと、「健康づくり支援マップ」を各区分6種類お手もとにお配りしています。資料としては以上です。不足などよろしいでしょうか。

それでは、部会の開催にあたりまして、加瀬健康部長よりご挨拶を申し上げます。

(加瀬健康部長) 皆さん、こんにちは。健康部長の加瀬でございます。今日やっと、気象庁の方から梅雨明けということで宣言されたようですけれども、また今、大雨洪水警報が出たりして、今年はわけのわからない天気のようなのですが、これからおそらく梅雨が開ければ、本格的に夏ということになり、今はしのぎやすいですが、急に温度が上がり、健康面でいろいろあると思いますので、委員の皆さま方も特にこれからご留意していただきたいと思います。

平成28年度 第1回食育推進部会の開催にあたり一言挨拶を申し上げます。まず、委員の皆様方に

は、たいへんお忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の保健衛生行政に多大なるご協力をたまわりまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、食育についてですが、私も非常に興味を持っておりまして、実は先般25日に厚生労働省の方で食育の全国会議がございました。これは、基本的には担当者の会議だったわけですが、私も厚生労働省に行き、半日ほどその会議を聞いてまいりました。内容としては、国の3次計画、それから地方、地域がそれぞれ、それに合わせて様々な計画を作っていくわけですが、いろいろな観点から食育について勉強させていただきました。当然なんです、まず食育といいましても、やはり大きな「健康づくり」というような観点から食育を見ていこうという考え方、それから、今回新しい国の3次計画の中で特に目立ったのが、「食の伝承」という、今の方から次の世代へ伝承させていくようなそういった観点からの食育、こういったことも非常に大きなテーマとして、3次計画の中にもものってきます。その辺は今日説明があるかと思いますが、そういったことを非常に興味深く聞いてきました。また、今日あたりの新聞に載っていたかと思いますが、千葉県で2年に一度県民の生活習慣アンケートを行っています。これは、健康づくりから、たばこ、食育も含めてですが、様々な問題について、2年に一度県民の中から何人かを選んでアンケート調査をして、その結果、傾向も分かるようになっていきます。膨大な資料なので、なかなか見るのは大変なのですが、その中で、「栄養と食生活」について、何点か気になることがありましたので、ご紹介させていただきたいと思います。

「栄養と食生活」のうち、1週間のうち、何日朝食をとっているかという問いに対して、全体で74.1%、4人のうち3人が毎日朝食をとっていると回答しています。ただ、男性は72.6%、ただし、2年前、4年前と比べますと、上昇傾向。男性は、72.6%と全体より低いんですけども、少しずつ増えてきていると。その一方、女性は75.4%ということで、平均を上回っていますが、これは、数年前と比べると数は減ってきているという状況がわかります。

また、1週間のうち、何日、主食・主菜・副菜の3つを揃えて、1日2食以上ちゃんと食べているかという問いに対しては、全体で55.1%が毎日食べているというような回答をしております、これは、前回調査に比べて男女とも上昇傾向にあります。全体として、こういった食生活や栄養については、良い傾向に向かっているというような内容になっています。最後に、今後の食事についての意識調査というものがありまして、この中で、75.8%の方々が「今よりも食事について良くしていきたい」というような意識を持っていると回答しております。食事への関心の高さが伺えると同時に、現在の食事についての問題意識を持っている市民の方、県民の方が多いということがわかりました。こういった、アンケート調査も、中身を分析してみますと面白いことがわかると思います、ご紹介させていただきました。

本日は、本市の第2次食育推進計画の取り組みや、先月実施した「食育のつどい」の実施結果報告のほか、国の第3次計画の概要などについて、など盛りだくさんな内容を説明させていただきます。どうか、委員の皆様方には忌憚のないご意見を賜りますようお願いして、大変簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお祈りします。

(三橋健康支援課課長補佐) 続きまして、新たに委嘱された委員2名をご紹介します。

はじめに、清水葉子(しみずようこ)委員に代わりまして、本年5月11日から委嘱されました、千葉市食生活改善協会会長、坂口いく子(さかぐちいくこ)委員でございます。

次に、本日ご欠席ですけれども、布施春香(ふせはるか)委員に代わりまして、千葉市PTA連絡協議

会副会長、土屋和則（つちやかずのり）臨時委員が、本年5月27日から新たに委嘱されております。その他の委員及び臨時委員の皆様につきましては、恐縮ですが、お手元の「委員名簿」にてご確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

なお、欠席の委員さんがいらっしゃいます。千葉みらい農業協同組合常務理事、伊藤（いとう）委員、生活協同組合コープみらい組合員理事、古賀（こが）委員、千葉市畜産協会会長、斎藤（さいとう）委員、千葉市歯科医師会副会長、砂川（すなかわ）委員、千葉市食品衛生協会会長、藤沼（ふじぬま）委員につきましては、本日欠席と御連絡をいただいております。また、あらためまして、事務局の職員につきましても、お手もとにお配りした席次表により紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、議事の進行につきましては、当会の設置条例第7条に基づきまして、渡邊部会長にお願いしたいと思います。

（渡邊部会長）それでは、議事に移らせていただきます。お手元の議事次第に沿って進めて行きたいと思っております。

議題1「第2次千葉市食育推進計画の取組状況について」でございますが、はじめに事務局より、第2次千葉市食育推進計画について説明をお願いいたします。

（福田健康支援課長）関係課の御協力のもと推進しております、第2次千葉市食育推進計画について説明させていただきます。

子どもから大人まで、市民一人ひとりが「食」を大切にし、正しい知識と選ぶ力を身に付け、健全な食生活を実践することで、「こころ」と「からだ」の健康と豊かな人間性を育むことを基本理念としております。この計画期間は、平成26年度から30年度の5年間です。基本理念、基本目標につきましては第1次計画の理念、目標を継承し、引き続き取り組んでいます。

第2次計画では、基本目標に「重点取組」を位置づけました。第3章をご覧ください。

基本目標1の「食」を大切に作る心の育成には、「一緒に食べる『楽しい食事』」を位置づけ、家族や仲間と一緒に食卓を囲む「共食」をより一層推進していきたいと考えております。

基本目標2の、「食」の理解と実践につきましては、「食から始まる『健康づくり』」を位置づけ、若い世代や働き盛り世代へ、健康づくりや生活習慣病の予防・改善について働きかけていきたいと考えております。

基本目標3の、「食育」の「輪」の展開では、「食で育む『地域のつながり』」を位置づけ、食に関する様々な活動を通じて、地域のつながりを深めていきたいと考えております。

また、第2次計画から「推進キャッチフレーズ」を設定しております。

「おいしいね、たのしいね、たべるってだいじだね」と全てひらがなで、子ども達にも親しみやすいものになっておりますので、ご活用いただきたいと思います。

施策の展開として、第4章にある5項目を推進しているところです。

第2次千葉市食育推進計画につきましては、今後、今年度から評価という形で、次期計画の準備に入る予定になっております。今後の調査の際には、関係機関の皆さまに、またご協力をお願いすることとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。引き続き、取り組みの推進のお願いをしたいと思います。

(渡邊部会長) ありがとうございました。では、続きまして、資料2【調査票A】第2次千葉市食育推進計画取り組み一覧をご覧ください。

ここには、平成27年度実施及び評価と、28年度実施予定が記載されています。こちらの資料の評価基準は、「計画以上の取り組みができた」をA、「ほぼ計画通りに取り組んだ」をB、「計画通りに取り組みなかった」をC、「事業廃止」をDとして評価しています。それでは、第2次千葉市食育推進計画の食育施策の展開の項目について、7部署の関係課から取り組みの状況を報告していただきたいと思いません。

まずはじめに、1「家庭・地域における食育の推進」について、稲毛区健康課からお願いします。

(荒川稲毛区健康課長) 稲毛区健康課の荒川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、資料2 基本施策の1「家庭、地域における食育の推進」の中にある関連事業について一括してご説明申し上げます。

区の健康課においては、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた、相談や教室を行っています。教室の中には、生活習慣病予防教室や妊婦さんを対象にした料理教室、親子料理教室、高齢者の食事セミナーなどがあります。対象者に合わせて、食事のバランスや、不足しがちな野菜の摂取をすすめることなどを啓発する事業を行っています。

調理実習を伴う事業の多くでは、健康課の管理栄養士が養成している食生活改善推進員さんが中心的な活動を行っています。

食生活改善推進員は、「ヘルスメイト」とも呼ばれていますが、市の主催する養成講座を修了し、市長の委嘱を受けたボランティアでございます。現在6区において、約300人の食生活改善推進員が活躍しております。なお、今年度は稲毛区において、食生活改善推進員の養成講座を開催することとなっております。

食育の関係者の連携として、各区の健康課において、地域の小学校・保育所・保育園・幼稚園の栄養士、食生活改善推進員が集まる「地域食生活連絡会」を開催しており、ここでは食育の取り組みについての情報交換や、食育の教材・献立の作成などを実施しております。この連絡会から先ほどの教育などに連携していく事業もあります。

また、同様な連絡会として、医療機関をはじめとする関係機関や地域住民などで構成される「地域健康づくり支援連絡会」を開催し、健康づくりの情報や健康課題を共有し、市民への働きかけを検討しております。この連絡会を通じ、各区の個性豊かな「健康づくり支援マップ」を作成し、生活習慣病予防、バランスのよい食生活、おすすめレシピ、運動についてなど、健康づくりのための情報を発信しております。本日は、健康づくり支援マップについてはお手元に配布しておりますので、ご覧いただけたらと思います。

稲毛区の健康づくり支援マップをご覧ください。稲毛区においては、「歩け稲毛 あなたのいっほ！」という健康スローガンを掲げて、食育を含めた健康づくりの取り組みを実施しております。

スローガンでは、4つの【ほ】を提案し、1つ目は、野菜やカルシウム、栄養などを補うという「補(ほ)」でございます。2つ目は、の「ほ」とは、無理な運動よりまず歩く自分のペースで毎日続けることの「歩く歩(ほ)」ということです。3つ目は、元気を保つということで、年1回の健診を受ける「保の保(ほ)」最後の「ほっ」は深呼吸でほっと一息、リラックスする「ほっ」という意味です。皆さんもぜひ4つの

「ほ」を実践してみてください。私の方からは以上でございます。

(渡邊部会長) 最後に楽しいお話をありがとうございました。それでは続いて、2「保育所(園)・幼稚園・学校における食育の推進」について、はじめに幼保運営課、続いて保健体育課からお願いいたします。

(五藤幼保運営課担当課長) 幼保運営課の後藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。私からは、保育所保育園の取り組みについてご報告をいたします。資料2取り組み一覧表、5ページ37番以降になります。「保育所(園)・幼稚園・学校における食育の推進」1～5について、順にご説明させていただきます。

まず、1「保育活動や教育活動を通じた食育の推進」ですが、保育所では、保育活動の一環として食育を位置付けています。保育所保育指針や、保育における食育活動の指針に基づきまして、それぞれの保育施設の地域性や、子供の状況などを踏まえ、食育計画を立てて実践しています。保育所保育指針には、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子供に成長していくことを期待するものであること、と書いてありますように、保育所の食育や給食でもっとも大切にしていることは、給食を楽しく食べることです。食べることに喜びが持てるように活動しています。食物アレルギーを持つお子さんへの給食は、今年度から完全除去対応になりました。前年度までは、多段階の除去食対応をしていましたが、安全性を最優先し、原因食物の完全除去対応としました。通常の給食の他に、保育所に在籍する児童が持つすべてのアレルゲンを除いたアレルギー対応の給食を提供しているところです。

2「指導体制の充実」ですが、給食担当者の研修は、幼保運営課主催の研修のほかに、千葉市保育協議会に委託している研修もあり、さらに保育所の栄養士は、年7回、献立や食事調査等について検討しております。

3「給食をとおした食育の充実」ですが、平成27年度の栄養士研修で、食事調査を担当したグループが、たんぱく質の摂取状況について調査を行いました。卵や魚は少なく、肉類を多く家庭で摂取している傾向がありました。全体としてのたんぱく質摂取量は減らしませんが、肉類については、今年度、どのようにしていくのか検討しております。ただ、主となる献立の肉類を減らすということではなく、これまで使用していた野菜ソテーや中華丼などの肉の量を減らし、子ども達の満足感を損なわないように注意しております。

4「農業体験や食品の調理等の体験活動の推進」についてです。保育所では、年間計画を立て、栽培活動を積極的に行っています。子供たちが育てた栽培物は、収穫し、その日のうちに給食室で調理してもらい給食やおやつなどで食べています。ピーマン・なす・トマト・きゅうり、オクラ、トウモロコシなどの夏野菜はもとより、じゃがいも、さつまいも、ニガウリ、枝豆、お米、ブロッコリー、大根などは、多くの保育所で栽培しています。育てた栽培物を利用して味噌を作ったり、ポップコーンやカレーを作ったり、切り干し大根を作ったりしています。また、トウモロコシやそら豆の皮をむいたり、絹さやの筋をとったり、タマネギの皮をむいたりもしています。自分が関わった物を昼食やおやつとして食べる時は、いつも以上に喜んで積極的に食べているように思います。

最後に、5「保護者への普及啓発 地域との連携」についてご説明をいたします。保育所では、給食

の展示をしたり給食だよりや月のおたよりで、食に関わる子供たちの姿を紹介したり、毎月の献立表で旬の食材を使ったレシピや郷土料理の紹介などを行っています。

また、ホームページでは、おいしい元気ちばキッズと名付け、保育所の献立の紹介や、子供の食事のQ&Aについて定期的に更新して発信しております。

今年度6月に実施した朝食の欠食状況については、公立保育所全体の欠食率は、3歳未満児1.35%、3歳以上児1.56%でした。朝食を一人で食べる割合は、3歳未満児4.66%、3歳以上児5.75%でした。夕食を1人で食べる割合は、3歳未満児0.93%、3歳以上児0.55%でした。朝食を欠食する割合、朝食や夕食を1人で食べる割合のいずれも、前年度よりも増えてしまいました。保育所の栄養士はもとより、保育所全体で保護者への効果的な投げかけを再検討しなければならないと考えています。保育所等の取り組みは、以上でございます。ありがとうございました。

(渡辺部会長) ありがとうございました。それでは続きまして、保健体育課からお願いします。

(伊原保健体育課課長) 皆さんこんにちは、教育委員会の保健体育課の学校給食の担当課長をしております伊原でございます。よろしく申し上げます。私からは、学校における食育の取り組みについて説明させていただきます。

小学校、中学校では、学校給食を生きた教材、として有効に活用し、児童生徒に対し食の大切さを指導しているところでございます。まず、教育活動を通じた食育の推進についてご説明いたします。5ページの41番、「食に関する授業を通じた指導」というところを開けさせていただきます。体育科、家庭科、理科、社会等の年間指導計画表に基づきまして、学級、学科担任が、栄養教諭、学校栄養職員、企業と連携しながら、教科等の特質を生かした授業や学校給食の食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さ、また、食に関する知識、食文化について指導しています。例えば、昨年、小学校では、学校で育てたナスやピーマンを使い、収穫してピザを作るという授業があったそうです。地域のピザ屋さんに学校に来ていただいて、一緒にピザを作りながら、「ピザって、本場はどこの国の食べ物か知ってる?」「イタリアだよね。」など、ナスとピーマンから発生した、地域の企業さんと一緒に食に関する色々な広がりをもった授業が展開されています。その他、食育の充実につきましては、ページ6の46番、「特色ある学校給食」、こちらは、普段は学級で給食をとっているのですが、異なる学年、または全校で交流する交流給食、ひなまつり、お月見など日本の古来の風習の中で食を意識する行事食、地域のお年寄りなどを招いた招待給食、児童生徒が好きな物を選ぶのではなく、健康によい食べ方とは、体に必要な食品とはということを選ぶ能力を身につけるために、バイキング、セレクト給食など各学校で特色ある給食を実施しております。

続きましてその下の47番、「地元農産物を導入した学校給食の実施」でございます。新鮮な地元野菜、農産物を学校給食に積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元の農業への理解を深めております。こちらは、年間3回、6月は食育の日、10月は市民の日、1月は給食週間がありまして、例えば、地元の人参を使った、ちはなちゃんゼリー、キャロットパンなどを特別メニューに入れたり、年6回の、市内産農作物を積極的に取り入れた、共通給食、市内の農産物といいますと、春夏人参、じゃがいも、すいか、市内産コシヒカリこれは、10月～11月は市内産のコシヒカリがでますので、市内産のコシヒカリを取り入れております。家庭においては、今日はこんな給食だったよと会話が増えて

いると聞いております。

続きまして、7ページの54番、「保護者への普及啓発、地域との連携」についてですけれども、食育だよりを使った情報提供、同じく55番で、家庭配布献立表を活用した情報提供ということで、献立表はもとより各ご家庭に配っているんですけれども、食育だよりとして、例えば夏バテを防止するならこんな食品をとったほうがいいのか、食中毒はこんなことに気をつけてください、風邪予防には、こんな食材を積極的に取り入れてくださいというような、ご家庭に対して色々な情報を提供しております。また、献立につきましては、学校の栄養士さんがきめ細やかな献立を作りまして、1日1日、この献立はこんなことを工夫したから、味わって食べてねとかきめ細やかな献立を各学校で工夫しながら行っています。またさらに、千葉県全体での郷土料理、例えば、春では菜の花のからしあえとか、いわしの団子汁などの説明をして、ご家庭の方に情報提供をしていると聞いております。

最後に、7ページ60番「市内農畜産物の理解促進」ということで、生産者による出張授業、こちらは、農政課さん、JAみらいさん、農家さんと協力しながら、実際に小学校を訪問して、種から始めていろいろ写真を追っていくごとに、今日とれた人参はこれだよと、葉っぱのついた人参を子供たちに見せながら、そしてその日人参の入っている給食を食するというので、自分たちがいつも食べている人参がどのように生産者を通じて、JAを通じて食べられる、身をもって食べる、その生産者の苦勞をきちんと感じられるような授業も行っております。このように学校給食においては、栄養の教職員を中心として、学校、地域の生産者と連携しながら食育の推進に務めているところでございます。以上でございます。

(渡邊部会長) ありがとうございます。保育所、小学校の取り組みが、栄養士を中心に、地域も巻き込んで行われているということをご発表頂きました。それでは、続いて地産地消の推進、環境にやさしい食育の推進について、初めに農政課、続いて廃棄物対策課からお願いいたします。

(石出農政課長) 農政課長石出と申します。よろしく申し上げます。お手元の7ページをご覧ください。

「地産地消の推進」の中の(1)「市内産農畜産物への理解の促進」ということで、58番「認知度の向上」につきまして、市民投票で決定した地産地消シンボルマークを普及して、認知度を高めようという取り組みをしております。27年度におきましては、今まで直売所等をお願いしていたわけですが、市内の飲食店と千葉市産の農産物をつなげようという新しい試みを行いました。マッチングとしましては6件程度成功しまして、徐々に増やしていこうと考えています。それから、区役所の朝市や、幼稚園のふれあい市でも農産物を販売して、認知度を高める。ちなみに、去年のこの食育の会議で、幼稚園さん、歯科医院さんが来ていたので、27年度の途中から、幼稚園の前で農産物の直売ができるようになりました。ありがとうございました。

続きまして、60番、保健体育課さんと共同で行っていますが、「生産者による出張授業」では、旬の野菜、牛乳を含めまして、5回ほど出張事業を行っています。生産者が直接出向いて授業を行い、その後、給食を会食し、食の農産物ができるまでの話で盛り上がっている試みを行っています。続きまして、8ページをご覧ください。(2)「地産地消の推進」、62番「地産地消キャンペーンの開催」、ということで、より多くの市民にPRし、食や農に対する関心を高めてもらいましょうという試みで、27年度におきましては、14回、いろいろな催しものに参加することで、キャンペーンを進めています。

続いて、64番、「地産地消に関する情報の提供」ということで、ホームページあるいはSNSなどを利用して広く情報を提供します。27年度におきましては、その他の情報メディアとして、観光協会での冊子に取り上げていただくというを行いました。

65番、「旬の農産物の紹介」としまして、同様に、ホームページを見やすくしまして対応しているところでございます。加えて視聴者に出ていただくトップセールスを、千葉市フェア、イオンさんでイチゴフェアなど2回行っています。

66番、「給食への市内産農産物の導入」、先ほど保健体育課さんの発表がありましたが、小学校においては、特別メニューや共通メニューの日に合わせて、中学校においては、年間を通じて市内産の野菜を導入しております。まとめますと、お米も含めまして、328トン程度供給をしております。

続いて9ページお願いします。(3)「生産者と消費者との交流と体験活動の促進」、68番「市民農園、体験農園、観光農園の整備と利用促進」。27年度におきましては、数字を掲げておりますが、利用者の増加、横ばいのところもあります。身障者用トイレの設置を目標の数字通り、前年度より1カ所増やしまして9カ所の設置を得ています。(4)「地元でとれる農畜産物を活かした料理の普及」、71番これは、委託したり自主事業も含めてですが、消費拡大の啓発あるいは、料理講習会を実施し、農業や食に対する理解を深めようとする。27年度におきましては、芋もち、からしなといった料理講習会や、落花生の収穫体験を行いました。農政課からは以上でございます。

(渡邊部会長) ありがとうございます。続きまして、廃棄物対策課からお願いいたします。

(植草廃棄物対策課主査) 廃棄物対策課の植草と申します。本日は課長、補佐が出席できず、代理で報告させていただきます。資料の10ページをご覧くださいと思います。

72番「エコ料理の普及啓発」ということで、昨年度は、エコレシピ料理講習会を開催いたしました。地産地消を意識した買い物の仕方や、食材を無駄なく使う調理法、できるだけ水を汚さない洗い物の仕方などを学んでいただきました。今まで、一般の方を対象に開催していたんですけども、もっと若年層のうちから、身近に触れていただきたいと思ひまして、昨年度は高校生を対象に実施いたしました。今年度もまた高校生を対象に実施をするんですけども、来月新たに家庭科の先生を対象にエコレシピ料理講習会を開催する予定です。

75番、「学校における食品ロス削減の啓発」というものを昨年度新たに行いました。保健体育課さんですとか、小学校・中学校の栄養士の方々にご協力いただきまして、市内の市立小学校と中学校全部で食品ロスの啓発を行いました。食べ切りを啓発するポスターを学校内に貼り出していただいたり、校内放送で、食品ロスがどんなものなのかという放送をしていただいたり、あとは、給食だよりも記事に掲載していただきました。学校以外にも飲食イベントでキャンペーンを行ったり、ホテルでも宴会の食べ残しで食品ロスが多く発生していますので、宴会の幹事さん向けにチラシを配ってお願いをしたりですとか、利用者向けに食べ切りのスローガン入りの紙おしぼりを配ったりもいたしました。今年度の予定といたしましては、また市内の小中学校と連携をすることと、11月には、事業者の方や一般市民の方を対象に、食品ロスの講演会を実施する予定です。

資料には掲載はないのですが、また今年度の新たな取り組みといたしまして、手つかずの食品などを回収する事業を行いたいと考えております。賞味期限のまだきれていない食品ですとか、未使用・未開

封の大人用、子供用の紙おむつ、犬猫用のペットフードやペットシートを、10月11月に行われます各区の区民まつりで提供いただいて、生活困窮者の方などに支援を行うということを考えております。以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。続きまして、4「食の安全・安心に関する情報の提供」について、生活衛生課からお願いいたします。

(前嶋生活衛生課担当課長) 生活衛生課の前嶋です。どうぞよろしく申し上げます。私の方からは4「食の安全・安心に関する情報の提供」についてご説明させていただきます。資料2、調査表Aの11、12ページが該当します。78番から83番が当課の取り組みでございます。今回、この中から3つの事業についてご紹介・ご報告させていただきます。

まず、11ページの79番「リスクコミュニケーションの推進」でございますが、市民、食品関係事業者を対象に食の安全に関する講演会、食品衛生監視指導計画に関する意見交換会等を実施するというものでございます。

平成27年度の実績でございますが、まず、1としまして、本年2月3日に千葉市総合保健医療センター5階大会議室におきまして講演会及び意見交換会を開催いたしました。講演は、最近、異物混入問題が色々賑わっていますので「食品工場の異物対策」と題して株式会社食研(しょっけん)の品質保証部の先生からご講演をいただきました。また、講演会のあとは、意見交換会を実施いたしました。なお、講演会の参加者は33名でございました。本講演会ですが、ここ2年、参加者が非常に少なくなっております。この場をお借りしまして、PRになってしまいますが、関係者の方々の積極的なご参加をお待ちしておりますので、宜しくお願いします。1月下旬頃の開催を予定しております。

次に、2としまして、「千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続きの実施」でございますが、これは食品衛生法に基づき、食品営業施設等の立入検査や食品等の試験検査などの年間計画を策定するものでございますが、計画案に対する意見を本年1月5日から2月8日まで募りました。意見は2名の方から合計16件いただいております。本年度におきましても同様に実施する予定でございます。

次に、12ページの「81番 食品衛生監視指導計画の策定及び結果の公表」でございますが、パブリックコメントを経た監視指導計画(案)は、意見を踏まえて精査したのち、ホームページ等で公表しております。また、計画に基づき保健所食品安全課が実施した結果も、その概要を毎年6月末までにホームページで公表しております。

平成27年度の実績ですが、監視指導計画については、飲食店営業や各種製造業など、許可が必要な業態については9,622件、また、野菜販売など許可が要らない業態については11,673件の立入検査を実施しております。

また、食品等の試験検査については、合計823検体を対象に検査を行いました。加工食品から生鮮食品まで、あらゆる食品を対象としております。なお、この中には放射性物質の検査も含まれております。

最後に、82番「食品衛生に関する広報活動の実施」でございますが、食中毒予防パレード、市政だより等による食品の衛生に関する広報活動の実施でございます。平成27年度の実績ですが、市政だよ

りへの掲載につきましては、例年同様6月1日号、8月1日号の2回、食品衛生夏期対策期間等について掲載をいたしました。広報車による広報活動につきましては、8月6日木曜日に、千葉市食品衛生協会の主催、実施主体により「食中毒予防パレード」として実施いたしました。パレードは、市内4ルートを延べ5台の広報車がそれぞれ巡回し市民に食中毒の予防を呼びかけるもので、この他、千葉そごうなど大型店舗等において啓発用のチラシやうちわの配布を行っています。ちなみに今年は、8月4日木曜日の予定でございます。

消費者対象の衛生講習会につきましては、昨年度は計4回実施いたしました。以上でございます。

(渡邊部会長) 丁寧な説明ありがとうございました。それでは最後に、5「食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立」について、健康支援課からお願いいたします。

(福田健康支援課長) 資料13ページの84番について報告させていただきます。

食育のつどいは、子どもから大人まで、市民の皆さまが、「食」への関心や理解を深めていただくために、平成16年度から毎年、食育月間に開催をしております。平成24年度から大型商業施設を使ったイベントを開催しているところです。今年度は、講演会として6月20日月曜日に、淑徳大学看護栄養学部栄養学科の石井克枝教授にご講演をいただきました。

イベントとしては、6月25日土曜日にイオンモール幕張新都心ファミリーモールで、千葉市健康づくり推進協議会 食育推進部会の関係団体の皆様と、農政課、廃棄物対策課、美浜区健康課のご協力をいただいて、「食育のつどい2016」を開催いたしました。併せて、資料3が食育のつどいの報告をまとめておりますので、ご覧いただきたいと思っております。当日は、食育のつどいのイベントへの来場者は、7,303人と、昨年度よりだいぶ多く来場していただきました。また、場所がファミリーモールということで家族連れの方に多く参加いただいたように思います。資料3は、結果の詳細と、当日の写真を載せた報告書になっております。当日は、サンリオのキャラクターで人気のある「KIRIMIちゃん」のステージもありまして、いろいろなステージと展示により、大変盛り上がりました。

来年度も開催を予定しておりまして、会場が決まり次第お知らせしたいと思っておりますので、またよろしくお願いいたします。

続いて、「おいしくタベル たのしくマナブ」という、食育&消費者教育情報誌をご覧いただきたいと思っております。これは、両方を推進することを目的といたしまして、消費生活センター、農政課、保健体育課、廃棄物対策課さんの協力と、市内の管理栄養士養成施設である「千葉県立保健医療大学」「淑徳大学」の先生と学生さんの協力をいただいて作成をいたしました。この内容は、見ていただくとわかりますが、望ましい食生活について、地産地消の推進として、市を代表する農産物である、にんじん・小松菜に焦点をあてまして、小学生の皆さんに向けたメッセージ、あとは、大学と連携して作成したレシピの掲載などを行っています。また、小学校における地産地消の取り組みや、食品ロスの削減、食生活改善推進員について、消費者教育について、たくさん情報が詰まったものとなっております。昨年の12月に、市内小学校116校全校の児童に51,740部を配布しております。

今年度も同様に作成を進めており、今年度は新たに、生活衛生課さんのご協力をいただいて、食の安全という視点も入れていきたいと考えております。ご報告は以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。それでは、ただ今の説明、5つに関しまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、議題2に入ります。資料4「関係機関における食育推進の取り組み一覧表」をご覧ください。事前に、委員の皆様にご報告いただきました所属団体での食育活動についてこの場で報告をいただきたいと思います。日本チェーンストア協会関東支部、安藤委員をお願いします。

(安藤委員) 安藤でございます。今年度の取り組みとして、3点書かせていただきました。まず、千葉健康サポートフェアというところですが、今年度は、9月の3日4日にイオンスタイル鎌取店で緑区さんと一緒に健康フェアを実施させて頂く計画をいたしております。今までは、ブース出展はしていなかったんですが、本年はブース出展させて頂いて、健康に一助したいなと思っております。

それから、毎年実施させて頂いております小学校への食育出前事業ですが、こちらに関しましては、小学校さんに今回は食育体験学習会ということで、イオン鎌取店さんにお越し頂きます。大巖寺小学校3年生さん19名に、いらして頂くご予定なんですけれども、1時間半のプログラムで、栄養士さんが講師を務めまして、実際に売り場でメニューを決めてお買い物ゲームをして頂いて、こちらの発表とか食育バランスガイドで体づくりをしましょうというご説明、それから野菜クイズと食べものの旅ということで食べたものがどういった形で消化して出て行くかというところまで説明をさせて頂いております。それと最後に野菜をちぎったり叩いたり、あと果物をちょっとトッピングしたりして、野菜たっぷりのサラダ作りを皆さんで実施させて頂いて、最後に試食して頂き終了というかたちです。こちらに関しましては市内だけでなく、全国のお店でご希望のあった小学校さんに日程が合えば、お越しただいて実施させて頂いております。

また千葉市内ではイオンの鎌取店と幕張店で実施してるんですが、クッキングステーションというものを設けておまして、こちら毎週月火・金土日に、やはり管理栄養士が売り場に立っておりまして、実際に離乳食とか介護職とか高血圧とか生活習慣病に対する食事の相談等も受けており、非常に好評です。毎月、お月見とかお赤飯とかその時々によって季節ごとの伝統食の紹介なども致しております。

3番目の食育のつどいですが、こちらに関しましては先ほどご発表頂きましたようにイオンモールの幕張新都心のファミリーモールの方で実施して頂きまして、イオンとしてはサンリオの「KIRIMIちゃん」に来て頂いて、お魚に対するイオンの取り組みをブースの方で発表させて頂いております。以上でございます。

(渡邊部会長)

ありがとうございます。それでは続きまして、千葉市食生活改善協議会、坂口委員をお願いします。

(坂口委員) 食生活改善協議会の坂口です。取り組み一覧表6番の(2)についてご報告をいたします。私達ヘルスメイトは、乳幼児から高齢者まで、さまざまな世代の方々を対象に食育活動を行っています。その中から、小学校との連携、社会福祉協議会との連携の二つの活動の連携についてご報告をします。

小学校からは、3年生の社会科の発展授業としてパン作りの依頼を受けています。小学校3年生にパンづくりを指導することは、とても大変ですが、子ども達は、楽しそうにパンづくりを行っています。

ビニール袋の中で生地をこね、そのまま発酵させます。手でこねる感触、また、袋の中のパン生地のおいなどなど、五感をフルに使って、ロールパンを作っていきます。子供たちは、自分の作ったパンを食べて、「すごくおいしい。」「いい匂い。」「パン屋さんとはとても大変だと思いました。」など、嬉しそうに感想を話してくれます。また、発酵させている時間に、食育の話をします。小学校3年生の年代を踏まえて、朝ごはんの大切さを「今日、朝ごはん食べてきましたか?」という質問から始めます。更に、バランスの良い食事はなにかを、子ども達から引き出しながら話をしていきます。時々、PTAのお母さんたちにも参加していただき、一緒に話を聞いていただきます。とても大変ですが、やりがいを感じています。

また、もう一つ、社会福祉協議会からの依頼で「子育てサークル」で手作りおやつについての説明と、試食提供を行っています。今までは、主に、子ども達へ手作りおやつの作り方などの話でしたが、数年前から、子育てママやパパに焦点をあてて、バランスの良い食事のすすめや、生活習慣の改善の話をさせていただいています。若い世代との接点が少ない中、子ども達を通して行っていくのが一番身近な伝達方法だと考えています。報告は以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。続きまして、私の所属しております千葉県立保健医療大の、千葉食育応援隊の活動についてお話しさせていただきたいと思います。

本学には、学生サークルの千葉食育応援隊があり、栄養学科の学生が約50人所属しています。それらの学生と一緒に、1番と4番はベイトウンの方たちと一緒にベイトウン祭りで食育活動として健康づくりのための食べ物中心の相談や、エネルギーの計算をするコーナーを、食育のつどいでも行わせて頂いています。あとはグーパー食生活のダンスを披露して食育の推進を行っています。お祭りは、実際には、野菜クイズを行いました。これには、子どもたちがとてもたくさん来てくれました。

千葉市の食育活動では、食育のつどいの参加とともに、先ほどのお話にあった、この「おいしくタベルたのしくマナブ」の4ページの作成についても食育応援隊の学生が参加させていただきました。このうち2人は学校栄養職員として今年度就職し、1人は千葉市のある企業で食育の担当をしております。その1人が行った卒論の結果を踏まえて作成した資料がお手元のこのクリアファイルの中の最後の資料です。女性の食生活の課題を調査した結果、家庭で暮らす主婦は、お菓子が大好きという方が多いので、お菓子の食べ方とか、あと運動不足の方も多いので、運動しましょうということで、後ろをひっくり返すと、「お菓子を食べ過ぎていませんか?」と「適度な運動を忘れずに」というこの2点の記載があります。調査結果を踏まえたリーフレットを千葉県の食育活動に参加した学生が作りしたので、今日みなさんにお持ち致しました。

それから、千葉県では、どんどん高齢化しているための課題もありますが、若い世代、特に男子大学生の食生活の課題があります。県の健康づくり支援課と私どものサークルが共同して千葉工大の学生への食育を行いました。寮祭で食育ダンスを踊り、栄養相談ブースを実施しました。相談コーナーは順番まちができるほどの盛況でした。同世代の女子学生が行うからだと思いますが、気軽に色々な質問ができたようです。例えば、「にきびが多くて困る」、「肌荒れで困る」、「もっと痩せたい」などです。その質問内容に、応援隊の学生が驚いておりました。その後、その質問内容などを踏まえて寮に向いて、食育教室を行い、そこで相談を受けました。県庁の管理栄養士さんは食習慣等のアンケートも実施しました。それらの結果を踏まえて、千葉工大学生さんのためにリーフレットを作りましたが、県として千葉

工大に特化するのも勿体無いので、若い世代の県民のためのリーフレットを作成することになりました。千葉工大の学生さんには、そのリーフレットに千葉工大の学生に特化した1枚紙のリーフレットを挟むことになりました。ここに示しましたのが、若い世代の千葉県民のためのリーフレットです。

それから6番目が千葉県立保健医療大の学生のための食育です。本学の学生は学科によっては食習慣に相違があり、食事内容に課題がある学科もあります。それで特に男子学生に特化して料理教室を開いたのですが、参加者が少なく状況でした。そこで、今年は「ほい大ごはんカフェ」を行っています。保健医療大学ですからひらがなの「ほ・い」大学の「大」、です。学食の一部で月に1回程度、開催し、料理を食べてもらいながら食べるポイントを楽しく教えることを実施しています。第1回は、電子レンジでチンすればできる半熟卵、煮干でだしをとり、プチトマトとレタスをちぎって入れた具沢山味噌汁と、それから主食は麦ご飯です。学生はデザートが好きなので、みかんの缶詰を使ったフルーツヨーグルトも加えました。このような、簡単なメニューを提供しています。「ほい大ごはんカフェ」はおいしいと好評です。食事中にテーブルごとに食育応援隊の学生が行き、食事について楽しくアドバイスをするというのでやっております。ちば食育応援隊では、このような活動をさせて頂いております。

他の団体の取り組みについては、また次回の部会でご報告をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ただ今の説明に関しまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。それでは、ご質問がないようなので、続きまして、議題3その他になります。事務局より、説明をお願いいたします。

(福田健康支援課長) 資料5をご覧いただきたいと思います。国の第3次食育推進基本計画について、はじめに部長の挨拶にもありましたけれども、平成28年3月に、国の第3次の食育推進基本計画が発表されました。それについて少し説明をさせていただききたいと思います。

これまでも、第2次計画の取り組みとして、家庭、学校等、地域において食育を推進してきていますが、第3次計画では、食をめぐる状況の変化により、資料2ページ目を開けていただくと、重点課題があります。1つ目が、「若い世代を中心とした食育の推進」。2つ目が、「多様な暮らしに対応した食育の推進」。3つ目が、「健康寿命の推進につながる食育の推進」。4つ目が、「食の循環や環境を意識した食育の推進」。5つ目が、「食文化の継承に向けた食育の推進」ということで、2番、4番、5番が、3次計画で新たに重点課題という形で挙げられています。

千葉市の計画は、国と3年程ずれているのですが、今後評価、次回の調査、市の3次計画をたてる時に、これを参考に取り入れていきたいと思っています。今回は、国の3次計画についてご紹介をさせていただきました。以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。それでは、委員の皆様方から、何かございますでしょうか。

(杉崎委員) 食育とは直接関係ないのですが、日本栄養士会で「栄養の日」を制定いたしましたのでご紹介させていただきます。8月4日、ごろ合わせなんです、「エイト(8)、よん(4)＝栄養」。選びましたコンセプトは、誰にでも簡単に覚えていただけるという形で、栄養の日を8月4日というように制定いたしました。ただ、この辺りに健康増進法の制定ですとか、栄養士会が社団法人として設立された日ですとか、栄養に関係する様々な日がございますので、8月1日からを栄養週間、8月4日を栄養

の日として日本栄養士会で定めましたので、ご紹介させていただきます。

(渡邊部会長) ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。それでは、他にはないようですので、これで審議を終了させていただきたいと思います。

千葉市に、うちの卒業生が随分保育所や学校にも勤めさせていただいています。千葉市では、保育所に一人ずつ栄養士がおりますが、なかなかそういう市町村は、県内にもございません。そういったところで、小さい時から食育が丁寧に行われていることを実感しております。それは、公立だけに限らず、私立も幼稚園もそうですが、とても丁寧に食育が行われている市なんだということをお互いに理解して、それが小学校でも中学校でも行われているという特徴を大事にしていけるといいんじゃないかと思っています。

では、皆様方のご協力により、円滑に審議を進めることができました。ありがとうございます。

なお、本日の会議の議事録の作成につきましては、事務局及び部会長にご一任いただきたいと思います。以上で、平成28年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会を閉会いたします。この後は、事務局の方にお返しします。

(三橋健康支援課課長補佐) 渡邊部会長、ありがとうございます。本日の会議は、これをもちまして、終了となります。次回の部会につきましては、第2次千葉市食育推進計画の進捗状況、評価等について実施予定です。委員の皆様、誠にありがとうございました。

午後2時45分閉会

平成28年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会の部会議録として承認します。

千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会長

問い合わせ先保健福祉局健康部健康支援課

電話：043-238-9926

FAX：043-238-9946

電子メール：shien.HWH@city.chiba.lg.jp